

彼女を  
笑う人  
が  
いても

作：瀬戸山美咲 演出：栗山民也

出演：瀬戸康史 木下晴香 渡邊圭祐 近藤公園 阿岐之将一 魏涼子 / 吉見一豊 大鷹明良

2021年12月4日(土)～12月18日(土) 世田谷パブリックシアター





# 彼女を 笑う人が いても

## 彼女を笑う人がいても

作：瀬戸山美咲 演出：栗山民也

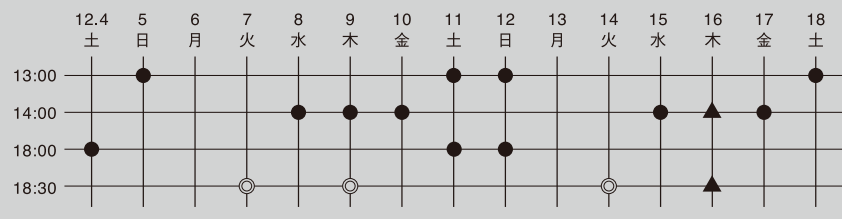
出演：瀬戸康史 木下晴香 渡邊圭祐 近藤公園

阿岐之将一 魏涼子 / 吉見一豊 大鷹明良

美術：松井るみ 照明：服部基 音響：井上正弘 映像：上田大樹 衣裳：前田文子 ヘアメイク：鎌田直樹 音楽：国広和毅  
 演出助手：須藤黄英 舞台監督：加藤高、松寄耕治 プロデューサー：大下玲美  
 宣伝美術：相澤千晶 宣伝写真：Maciej Kucia (AVGVST) 宣伝スタイリスト：高木阿友子  
 宣伝ヘアメイク：大城祐樹 (AVGVST) 宣伝メイク：有泉志乃 (TRON)



### 2021年12月4日(土)～18日(土) 世田谷パブリックシアター



※ 客席開場は開演の30分前  
 ※ 未就学児はご入場いただけません。  
 ※ 開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 ※ 営利を目的とした入場券の転売は、いかなる場合にも固くお断りいたします。

※ 世田谷パブリックシアターでは劇場ガイドラインに基づき新型コロナウイルス感染拡大予防のために対策を講じて公演を行います。必ず事前に劇場ホームページにて詳細をご確認の上、チケットご購入・ご来場をお願いします。

▲=客席内にカメラが入ります。  
 ○=終演後ポストークあり。  
 12/7(火) 18:30(出演：瀬戸康史・近藤公園・阿岐之将一)・12/9(木) 18:30(出演：木下晴香・渡邊圭祐・阿岐之将一)  
 12/14(火) 18:30(出演：瀬戸山美咲・野村萬斎(世田谷パブリックシアター芸術監督))

#### チケット発売

一般発売：10月10日(日)  
 劇場友の会会員先行：  
 一次先行(Web抽選) 9/23(木・祝)～9/26(日) ※9/17(金)までに友の会入会の方が対象  
 二次先行(先着順・先行初日は電話のみ)10/3(日)12:00～ ※9/29(水)までに友の会入会の方が対象  
 せたがやアーツカード会員先行(先着順)：10/9(土)  
 劇場オンライン会員・U24会員先行(先着順)：10/2(土)～10/3(日)  
 ※1申込につき1公演1席種4枚まで

#### 料金(全席指定・税込)

一般：S席(1・2階席)8,500円・A席(3階席)6,500円  
 高校生以下：S席 4,250円・A席 3,250円※1  
 U24：S席 4,250円・A席 3,250円※2  
 劇場友の会割引：S席 8,000円・A席 6,000円※  
 せたがやアーツカード割引：S席 8,300円・A席 6,300円※3

\*=前売のみ取扱  
 ※1 高校生以下：世田谷パブリックシアターチケットセンター・オンラインチケットのみ取扱い。当日要証明書提示。  
 ※2 U24：18～24歳の方は、主催公演をはじめとする公演を半額、または割引料金にてご購入いただけます。詳細・お申込みは、世田谷パブリックシアター公式サイトへ。枚数限定・要事前登録(無料)。このサービスはトヨタ自動車株式会社が提供しています。  
 ※3 せたがやアーツカード割引：世田谷区在住の方を対象としたサービスです。要事前登録。詳細・お申込みは、世田谷パブリックシアターチケットセンターまたは世田谷パブリックシアター公式サイトへ。

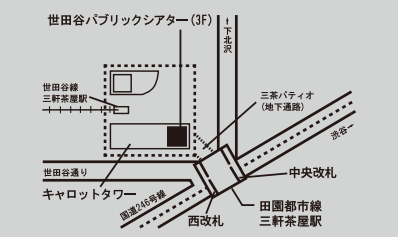
#### チケット取扱い

- 世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515(10:00～19:00)  
 \*窓口での発売・発券はございません。
- 世田谷パブリックシアターオンラインチケット(要事前登録・24時間受付)  
<https://setagaya-pt.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード508-107)
- イープラス <https://eplus.jp/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード35527)
- カンフェティ <https://confetti-web.com/>

[託児サービスのご案内](定員有・要予約) 料金：2,200円 対象：生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください) 申込：ご希望日の3日前正午までに世田谷パブリックシアター-03-5432-1526へ  
 [車いすスペースのご案内](定員有・要予約) 料金：一般S席料金より10%割引(付添者は1名まで無料)  
 申込：ご希望日の前日19:00までに世田谷パブリックシアターチケットセンター-03-5432-1515へ  
 [聞こえにくい方のための音声サポート](要予約・無料)詳細は劇場ホームページをご覧ください。  
 お問い合わせ：世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515(10:00～19:00) <https://setagaya-pt.jp/>

#### ツアー公演情報

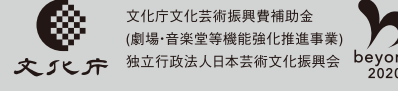
《福岡公演》  
 12月22日(水) 18時30分  
 会場：福岡市民会館・大ホール  
 主催：テレビ西日本、スリーオクック  
 《愛知公演》  
 12月25日(土) 18時  
 12月26日(日) 13時  
 会場：刈谷市総合文化センター 大ホール  
 主催：メ〜テレ、メ〜テレ事業  
 共催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター(KCSN共同事業体)  
 《兵庫公演》  
 12月29日(水) 18時  
 12月30日(木) 12時/17時  
 会場：兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール  
 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1  
 Tel.03-5432-1526  
 三軒茶屋駅[東急田園都市線  
 (渋谷より2駅・5分)・世田谷線]より直結

#### 世田谷パブリックシアター / シアター・トラス

主催：公益財団法人せたがや文化財団  
 企画制作：世田谷パブリックシアター  
 後援：世田谷区  
 協賛：東邦ホールディングス  
**TOYOTA Bloomberg**  
 協力：東急電鉄株式会社



雨音。  
 1960年6月16日。黒い傘をさした人々が静かに集まってくる。人々はゆっくり国会議事堂に向かって歩き出す。

2021年、新聞記者の伊知哉は自分の仕事に行き詰まっていた。  
 入社以来、東日本大震災の被災者の取材を続けてきたが、配置転換が決まって取材が継続できなくなってしまったのだ。  
 そんなとき、伊知哉は亡くなった祖父・吾郎もかつて新聞記者であったことを知る。  
 彼が新聞記者を辞めたのは1960年、安保闘争の年だった。

1960年、吾郎は安保闘争に参加する学生たちを取材していた。  
 闘争が激化する中、ある女子学生が命を落とす。学生たちとともに彼女の死の真相を追う吾郎。  
 一方で、吾郎のつとめる新聞社の上層部では、闘争の鎮静化に向けた「共同宣言」が準備されつつあった。

吾郎の道筋を辿る伊知哉。報道とは何か。  
 本当の“声なき声”とは何か。やがて60年以上の時を経て、ふたりの姿は重なっていく。

栗山民也演出により、気鋭の演出家・劇作家の瀬戸山美咲が書き下ろす安保闘争を題材とした新作戯曲を上演します。現代と1960年安保闘争の二つの時代を舞台に、報道の真実やマスメディアの正義を追い求め奔走する二人の新聞記者の青年の姿を通し、日本社会の光と闇を見つめ、現代を生きる私たちの心にかすかな光を灯す作品をお届けします。



